

令和3年度 事業報告

特定非営利活動法人 インクルひろば

1. 活動の成果

令和2年度に引き続き コロナ感染状況をふまえて 非常事態宣言が発令され、令和3年度の人々の交流は様々な面で制約を受けました。特に世代間を超えた人々の交流は特に難しいものでした。感染の心配から当法人が目指していた「誰かと一緒にご飯を食べる」ことはできませんでしたが、食をお届けする活動で人のつながりを広げることができました。お弁当お届けサービス「宅くる」、児童館への昼食のお届け、ふれあい給食のお弁当の調理を継続して行っています。1日100食程度のお弁当を調理しています。おうちで食べるごはんですから、個人の嗜好を大切に、嫌いなものは避けて、できる限り希望に対応しています。クルタン食堂もお弁当で対応して、活動を休まずつづけることができました。

これらの活動に加え、新たな子育て支援として「クルたんすこやかパントリー」を8月より開始しました。コロナ禍でお困りの子育て家庭に食品を提供しながら、地域の中でつながりをつくっていく活動です。インクル Café のならびに新たな交流スペースを構えることができました。この活動を始めたことで子どものみならず、いろいろな年代の人達が活動の運営にかかわっていただいています。

資金力の小さい私共が新たなスペースを持つことは大きなチャレンジでした。いろいろな知恵をお教えいただき、資金的にも、また物的にも多くのご支援をいただき、念願のトイレまで年度内に設置することができました。殺風景だったスペースが今では いろいろな工夫が詰まった やさしい温かいスペースに変わっています。

今、新たなスペースを利用して小さなつどいが始まっています。このスペースがいろいろな方の居場所になるように、交流が生まれる場になるように場を育てていきたいと考えています。

法人の活動を通じて、出会った子どもの家庭の問題が見えてきています。学校に行けずにいる子どもの居場所づくりに学校や役所、地域の機関と連携しながら取り組み始めています。地

域の中にある力を集結して、問題に取り組んでいく体制をつくることで子どもは地域の中で育っていく、誰も取り残されない社会を作っていけるのではと考えています。個々の対応となり、正解はわかりませんが 手探りで目の前の子どもにあわせて、考えていこうと日々、努力を続けています。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 子どもの健全育成を図る事業

① 「クルタン食堂（子ども食堂）」

子どもが安心して過ごせる居場所。感染対策を行いながら、誰かと一緒にご飯を食べられる食堂。緊急事態宣言中はお弁当の持ち帰りに対応。

毎週木曜日 17:00-19:30

長期休み中の昼食 12:00-14:00

年間 87 回開催。

年間利用者数実績 3539 人 （子ども 2726 人 高校生以上 813 人）

ボランティア 571 人

② 子育てサポート事業

児童館への配食 長期休み中 738 個

頌栄児童館・君影学童コーナー・南五葉児童館・桜ノ宮児童館で実施

③ クルたんすこやかパントリー

「コロナに負けない！子育て世帯への食を通じたつながり支援。

～子どもの笑顔と希望を地域で支える～」神戸市未来課と連携

月曜・金曜 13:00-16:00

木曜 16:30-19:30

第一日曜日 最終土曜日 に開催

年間 延べ 3257 世帯に支援。

(2) 高齢者の生活の充実を図る事業

① 困りごと相談事業 生活支援事業「クルくる」

生活の中のちょっとした困りごとをお手伝い。

あんしんすこやかと連携。

年間 290 件

② 生活の充実を図る事業・緊急事態宣言中は中止。

神戸市居場所事業づくり型一般居場所事業「メロディ喫茶」「オレンジカフェ」

開催日 5 日 参加者 50 名

(3) 障がい者の生活の充実を図る事業・緊急事態宣言中は中止。

インクルアート倶楽部

第3土曜日に開催。

開催日 8 日。 参加者 44 名

(4) 地域住民の交流を図る事業

① インクルカフェの運営

コロナの感染対策のため、カフェ内での飲食は中止。

視覚障がいのある方や高齢者の一人暮らしの方のみ食事に対応。

お弁当の宅配サービス「宅くる」を月火水金土曜 に昼と夜に実施。

年間 21,101 人が利用。 内 「宅くる」利用者は 14,210 人。

(5) 上記事業を推進するため他の団体と連携する事業

① 世代間交流事業

・ 8/2 動物コミュニケーター-大淵氏と行く「あいな里山体験」

頌栄児童館と連携。

・ 3/31 春のルンルン🎵交流ウイーク

動物コミュニケーター大淵氏による「ぶっちーとまなぼう」を開催。